

Canon

キヤノンメディカルシステムズ株式会社

“回診”の最前線を駆ける

～救急・病棟の現場で生きる！撮影の判断と工夫～



06.13 SAT

14:00 > 16:00

参加
無料

- [形式] オンライン開催
*セミナー開催後アーカイブ配信を予定しております
- [申込方法] 事前申込制
*当ご案内の下記・裏面をご覧ください


講師

高井 夏樹 先生

三菱重工業株式会社 神戸造船所 三菱神戸病院
健康診断センター 主任

X線撮影分野において、これまで数多くの学会・研究会において講演を行われ、そのご見識は広く高い評価を受けておられます。
また、関連分野における論文発表や医学誌への寄稿も数多く、X線撮影技術の発展および医療の質向上に大きく貢献されています。
本セミナーでは、救急時および病棟における回診業務をテーマに、日常業務に直結する実践的な内容をご紹介します。



 **Check!** 詳しい講演内容は裏面をご覧ください！

事前申込が必要です



二次元コードより
お申込みください

申込期限
6/12(金)正午

主催／お問合せ先

キヤノンメディカルシステムズ株式会社 XR・VL線営業部
CXDIオンラインセミナー担当

〒212-0015 神奈川県川崎市幸区柳町70番1号
☒ CMSC-CXDI.seminar@medical.canon
☎ 044-520-2101 (月～金 9:00-17:30)



高井 夏樹先生 - Natsuki Takai -

三菱重工業株式会社 神戸造船所 三菱神戸病院
健康診断センター 主任

救急時および病棟での回診業務の胸腹部坐位X線ポータブル撮影のコツ



救急時および病棟での回診業務の胸腹部坐位X線ポータブル撮影、心肺蘇生時の回診撮影の心得とチューブ類がある場合の考え方、病態に対する心電図との関係性を知り、予測されるX線画像について解説させていただきます。最後に再撮影の発生を低減させるための工夫と、再現性を高めるために行っている工夫や考え方、それに適した補助具についてご紹介させていただきます。

Part1.

救急時でのストレッチャー上に適した四肢のX線撮影用補助具の活用術



救急時は臥位ブッキー台上や狭いストレッチャー上にて臥位の状態のまま撮影することが多く、特に四肢のX線撮影は通常時の撮影法を用いることが出来ません。現在のX線撮影の教本にはストレッチャー上で正確な撮影を行うための手法が記されておらず、個々がその場を凌ぐ方法で撮影を行っている状態です。この度の講演で、救急時に適した撮影技術と補助具をご紹介させていただきます。

Part2.

Check! 高井 夏樹 先生へのご質問はセミナー終了後のアンケートにご入力ください
質問受付期限：2026年 6月30日(火)

Program

メーカー講演

『 Canonの回診撮影における最新技術トピックス 』

キヤノンメディカルシステムズ(株) 鳥羽 麦穂

講演1

『 救急時および病棟での回診業務の胸腹部坐位X線ポータブル撮影のコツ 』

三菱神戸病院 高井 夏樹 先生

休憩

講演2

『 救急時でのストレッチャー上に適した四肢のX線撮影用補助具の活用術 』

三菱神戸病院 高井 夏樹 先生

事前申込が必要です

01

お申込み

二次元コードより
お申込みください



申込期限
6/12(金) 正午

02

受付完了メール到着

視聴URLが記載された
メールが到着いたします



お申込み後すぐ

03

セミナー視聴

セミナー当日、
視聴URLをクリックし
ご視聴ください

